**ポスター発表「研究」発表要旨　 様式 ①**

・≪≫の箇所には、≪≫内の内容を記載した後、※.≪≫内及び≪≫そのものは削除する。

・（）内には、そこに書かれてある内容を記載し、（）そのものも残す。

・本文は明朝体細字**10.5pt**で記載する。本文2段組みで1枚にまとめてください。

≪タイトル：ゴシック体≫

≪サブタイトル＝ゴシック体≫

≪一行空き≫

○≪発表者の氏名≫（所属先）≪府県名≫社会福祉士会（会員番号）

≪共同研究者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）、≪共同研究者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）、≪共同研究者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）

**Ⅰ．研究目的**

≪この研究はどのように社会に貢献するか、意義があるかなど、研究目的を記述≫

**Ⅱ．研究方法**

≪「研究目的」をどのような手順で明らかにするかを記述≫

**Ⅲ．倫理的配慮**

≪必ず明記する≫

**Ⅳ．結果**

≪調査（アンケート、インタビューなど）の結果、または、事例等を記述≫

**Ⅴ．考察・結論**

≪「Ⅳ．結果」（または、支援経過）を受けて、なぜそのような調査研究結果になったかの考察を記述≫

**引用（参考）文献：**

**※おおむね以上のような構成として、必要に応じて見出しを工夫してください。**

**ポスター発表「実践報告」発表要旨　 様式 ②**

・≪≫の箇所には、≪≫内の内容を記載した後、※.≪≫内及び≪≫そのものは削除する。

・（）内には、そこに書かれてある内容を記載し、（）そのものも残す。

・本文は明朝体細字**10.5pt**で記載する。

≪タイトル：ゴシック体≫

≪サブタイトル＝ゴシック体≫

≪一行空き≫

○≪発表者の氏名≫（所属先）≪府県名≫社会福祉士会（会員番号）

≪共同発表者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）、≪共同発表者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）、≪共同発表者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）

**Ⅰ．実践の概要・目的**

≪この実践を取り上げた理由などを記述≫

**Ⅱ．倫理的配慮**

≪必ず明記する≫

**Ⅲ．実践内容**

≪目標、支援経過、結果などを記述≫

**Ⅳ．考察**

≪「Ⅲ．実践内容」の考察や実践から得た教訓などを記述≫

**Ⅴ．結論**

**引用（参考）文献：**

**※おおむね以上のような構成として、必要に応じて見出しを工夫してください。**

**近畿ブロック大会 ポスター発表申込 自己チェックリスト 様式 ③**

発表者の氏名（　　　　　　）　所属府県名（　　　　　）社会福祉士会会員番号（）

※必ず下記の項目について確認し、レ点を入れて、自己チェックをしてください。

（チェックがないものについては申し込みを受け付けられませんので、ご了承ください）

**倫理**

□　１　事例を取り扱うガイドライン及び研究倫理ガイドラインを遵守している。

□　２　対象者の安全および人権の擁護、特に研究に関する知る権利、自己決定の権利に対する

配慮ができている。

□　３　個人情報や秘密の保持、写真の使用などプライバシーに配慮できている。

□　４　対象者に行った倫理的配慮を明記している。

**構成**

□　１　ポスター発表要旨原稿（以下「発表要旨原稿」という。）の冒頭には、タイトル、
サブタイトル（任意）、発表者氏名・所属先・所属社会福祉士会・会員番号、共同研究者
の氏名・会員番号・所属社会福祉士会が記載されている。

□　２　発表要旨原稿は、それぞれの項目（目的・方法・内容・倫理的配慮・考察・結論）を
見出しに使用しながら、もしくはこれらを意識しながら構成してある。

**記載様式**

□　１　タイトル、サブタイトル、見出しは、フォントがゴシック体10pt、太字になっている。

□　２　発表者及び共同研究者の氏名、所属先などの情報、本文は、フォントが明朝10ptに
なっている。

□　３　発表者氏名の前に「○」をつけてある。

□　４　様式の余白は、上下左右を25ミリとしている。

□　５　発表要旨原稿の見出しに使用するナンバーは右記のとおりとする。
Ⅰ，１，（１），１），①

□　６　図、表、写真はそのまま製版可能な水準で、通し番号、タイトルが付されている。

□　７　括弧、句読点は和文中では全角、英文中では半角に統一されている。算用数字は、
一桁は全角、二桁以上は半角となっている。

□　８　引用文献は適切に記載されている。（本会ホームページ参照）

□　９　原稿はA４版横書き、１頁40行、（本文2段　横1段20文字）１枚で作成されている。